

vol.89

neo-brain OPEN HOUSE

[大屋根・中庭の家]

宇都宮市内の新しい分譲地の角地に建つ家

リビングダイニングとキッチン、和室、お風呂、トイレそして玄関が、中庭を「コ」の字に囲む平屋プランです。

階段ホールはこの「コ」の字のほぼ中央を渡り、上りきった二階からは、この空間すべてを見渡すことができます。

スキップフロアのごとく、一階と二階がつながっていることで、家全体の空間を広々と見せ、

家族一人一人がどこにいても、存在を感じることができます。

中庭の住まいは、どうしても外に対して閉じてしまいがちですが、

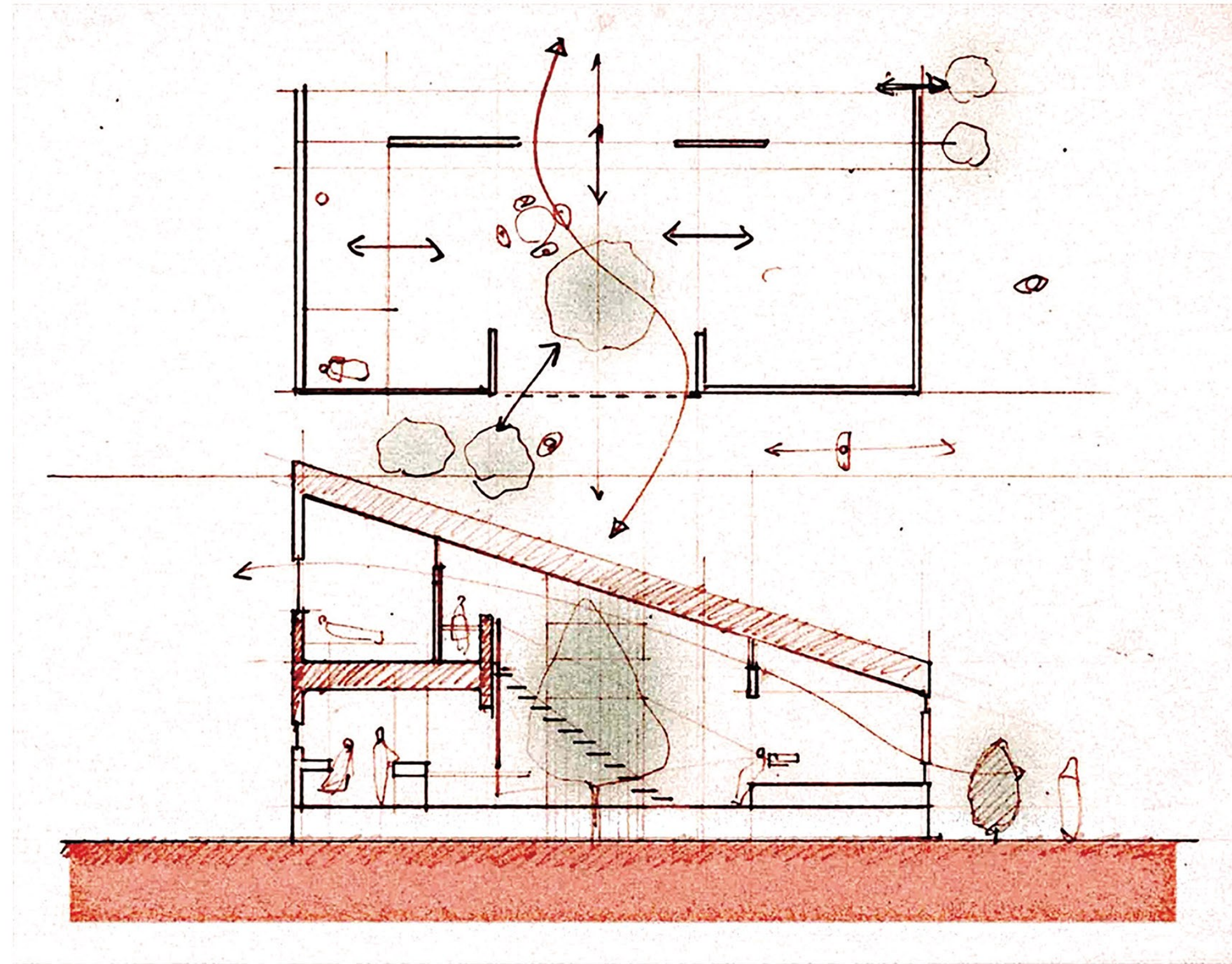
一階の中庭部分に格子戸をつけたことで、外へのプライバシーを守りながら、

格子戸を開くことで、風を感じ、ご近所と関わり、また開放感を得ることができます。

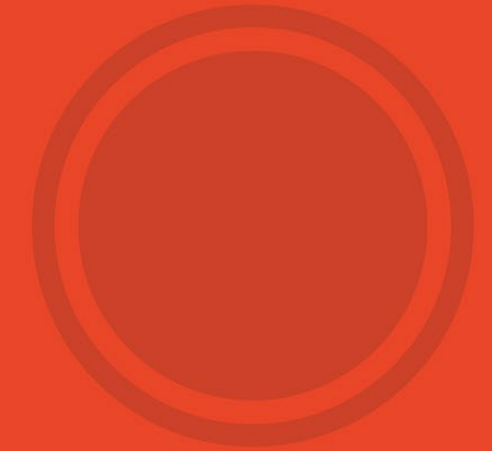
大きな三角屋根は、中庭、サービステラス、居室を囲み、

この屋根の包容が、家全体の一体感のあるデザインをつくり出しています。

Construction / Ikeda Koumuten co.,ltd.
Architect / ADT takuya hasegawa architect design : neo-brain



PLAN / ADT takuya hasegawa architect design : neo-brain



大屋根
中庭の家。

